

# 「ユニセフ活動の手引き」の活用法

知る



世界の入り口はテレビや新聞、インターネットなど、身近なところにあります。そして、このユニセフ資料も世界の入り口のひとつです。

- ✓ ユニセフとは? [→P.3~4](#)
- ✓ 世界の子どもたちはどんな危機や困難に直面しているの? [→P.5~8](#)
- ✓ 世界の子どもの様子、ユニセフの取り組みを見てみよう [→巻末DVD](#)
- ✓ 貸出教材を借りて「体験」してみよう [→P.18](#)
- ✓ ユニセフ資料を取り寄せよう [→P.19](#)
- ✓ 講師派遣「ユニセフ教室」を活用しよう [→P.23](#)

## 考えたら、さらに知り、行動してまた考える…

3つの要素を行き来しながら学びが深まっていきます

考える



知ったことや考えたことをみんなで話し合ってみたり、書いてまとめてみたりして考えを深めよう。そして、自分たちは何ができるか考えてみよう。

- ✓ 疑問をさらに調べてみよう [→P.17](#)
- ✓ ユニセフハウス ([→P.21](#)) や地域にあるユニセフ協会 ([→P.30](#)) を訪問して分からなかったことを質問してみよう

行動する



どんなアクションをするか企画したり、計画を立てたりしよう。決まりごとを守り、人に迷惑をかけない方法を考えよう。

- ✓ 文化祭やバザー、リサイクル活動の機会を生かしてユニセフ募金に協力! [→P.9](#)
- ✓ 街頭募金の計画・実施について [→P.11](#)
- ✓ 活動を終えてから [→P.15](#)



## ユニセフ活動を通してー子どもや先生からの声

小学校



児童より  
(沖縄県)

総合的な学習の時間に、ユニセフの資料を使って、世界の子どもたちの現状を勉強しました。自分たちの募金が世界の子どもたちのために使われると知つて、少しでも多く募金が集まるようにがんばりました。SDGsの目標1「貧困をなくそう」、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなになど達成のために、私たちの募金と気持ちを役立ててください。

小学校



先生より  
(大阪府)

ユニセフDVD教材を児童と共に見て、ユニセフ募金について学習しました。世界には、自分たちよりも幼い子どもが病気に苦しんでいること、教育を受けることのできない子どもがいることに驚き、心で様々な想いを抱きました。「ユニセフの活動について知ってほしい!!」という想いから、児童朝礼や校内放送で呼びかけ、一週間毎日募金活動を行いました。主体的に活動している姿は、教員も感心するほどでした。「来年度も活動していきたい」「DVDを全校児童にも見てほしい」と、児童たちはニコニコで、達成感に満ちていました。